

平成30年度  
決算説明資料

令和元年10月4日

交 通 局

# 目 次

頁

1	1日当たり乗車人員の推移	1
2	バスの有責事故件数の推移	2
3	バス運転士の年齢別有責事故件数の推移	3
4	バスの運行ミス件数の推移	4
5	地域巡回系統の路線別営業係数比較	5
6	南陽巡回バスにおける利用促進策	6
7	障害者団体等からの主な要望及び対応状況	7
8	旧名城工場跡地	8
9	旧名城工場跡地の活用に関する詳細調査の概要	9
10	累積欠損金の推移	10
11	バス運転士、地下鉄乗務員、駅務員の欠員数の推移	12
12	休職者数の推移	13
13	コンクールの実施	14

# 1 1日当たり乗車人員の推移

(単位 人)

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
バス	定 期	113,540	118,145	121,601	124,944	127,818	
	定 期 外	普通券	23,538	21,906	20,857	20,265	19,656
		I C カード	58,865	58,894	58,945	60,089	61,276
		一 日 乗車券	23,086	25,121	25,135	24,793	25,035
		計	105,489	105,921	104,937	105,147	105,967
	敬 老	86,126	88,707	89,782	90,767	93,952	
	福 祉	21,197	22,188	23,125	23,923	24,052	
	貸 切	1,173	1,177	964	863	907	
	合 計	327,525	336,138	340,409	345,644	352,696	
	地 下 鉄	定 期	638,746	663,711	681,117	696,606	710,581
定 期 外		普通券	99,632	93,564	86,716	80,570	75,826
		I C カード	354,773	365,275	372,591	380,517	391,011
		一 日 乗車券	26,721	28,987	29,131	28,564	28,431
		計	481,126	487,826	488,438	489,651	495,268
敬 老		94,283	97,736	100,246	101,626	103,071	
福 祉		22,807	24,139	24,944	25,451	27,002	
合 計		1,236,962	1,273,412	1,294,745	1,313,334	1,335,922	

## 2 バスの有責事故件数の推移

(単位 件)

区 分	29年度	30年度
対車両事故	184	162
車内事故	155	152
歩行者等との事故	19	17
構造物等との事故	164	132
そ の 他	36	47
計	558	510

(注) その他は、バス車両の原因不明の傷や水はねを生じたものなどです。

### 3 バス運転士の年齢別有責事故件数の推移

区 分		29年度			30年度		
		事故 件数 (件)	運 転 士 数 (人)	1人あたり 件数(件/人)	事故 件数 (件)	運 転 士 数 (人)	1人あたり 件数(件/人)
60 歳 以 下	40 歳 以 下	144	412	0.35	113	384	0.29
	41 ～ 60 歳	355	1,199	0.30	335	1,275	0.26
61 歳 以 上	61 ～ 65 歳	10	39	0.26	9	37	0.24
	66 歳 以 上	18	47	0.38	15	46	0.33
計		527	1,697	0.31	472	1,742	0.27
不 明		31	—	—	38	—	—
合 計		558	—	—	510	—	—

(注) 不明とは、バス車両に傷があるものの運転士を特定できないものです。

#### 4 バスの運行ミス件数の推移

(単位 件)

区 分	29年度	30年度
路線誤り	228	219
ダイヤ誤り	80	76
バス停通過	121	135
行先表示誤り	9	14
そ の 他	23	30
計	461	474

(注) その他は、信号不注意、車内点検不履行などです。

## 5 地域巡回系統の路線別営業係数比較

系 統 名	26年度	30年度	拡大時間帯	
			往路	復路
千種巡回	158	144	8時台	
東巡回	231	207	8時台	17時台
北巡回	151	148	17時台	
楠巡回	123	111	8時台	
西巡回	149	152	8時台	
山田巡回	162	181	8時台	
中村巡回	184	191	8時台	
中巡回	323	307	17時台	
昭和巡回	169	160	17時台	
瑞穂巡回	255	212	8時台	
熱田巡回	313	250	8時台	
中川巡回	229	209	17時台	
富田巡回	168	185	17時台	
港巡回	168	154	8時台	
南陽巡回	361	311	8時台	
南巡回	119	105	8時台	
守山巡回	237	212	8時台	
志段味巡回	316	312	8時台	
徳重巡回	149	129	8時台	17時台
緑巡回	217	192	8時台	
名東巡回	136	152	17時台	
天白巡回	126	117	17時台	
全 体	181	171	—	

(注) 1 営業係数とは、100円の収入を得るために要する費用を示す指数です。

2 平成26年度までは9時台から16時台の運行でしたが、平成27年4月に往路、復路各1本の増便を実施しました。

## 6 南陽巡回バスにおける利用促進策

### (1) 概要

平成30年7月5日に南陽地区で「2018全国田んぼアートサミット」が開催されたことに合わせ、港区役所、南陽支所、中川区役所、富田支所と連携し、南陽巡回バスについて利用促進策を実施しました。

### (2) 内容

事 項	内 容
地域巡回バスへの愛称の設定	一般募集した愛称候補について、南陽地区小中学校の児童生徒の投票により愛称「ナンピー」を決定し、南陽巡回バスを運行する車両に愛称のマグネットステッカーを掲出
地域巡回バスの沿線施設等を紹介したマップの作製	「2018全国田んぼアートサミット」や、関連する「農・会うフェスタ2018」などのイベント情報のほか、沿線地域の情報が記載されたマップを作製し配布
地域巡回バスの車内に絵画等の作品を展示するギャラリーバスの運行	南陽巡回バス沿線にある6つの小中学校の児童生徒による作品を掲出

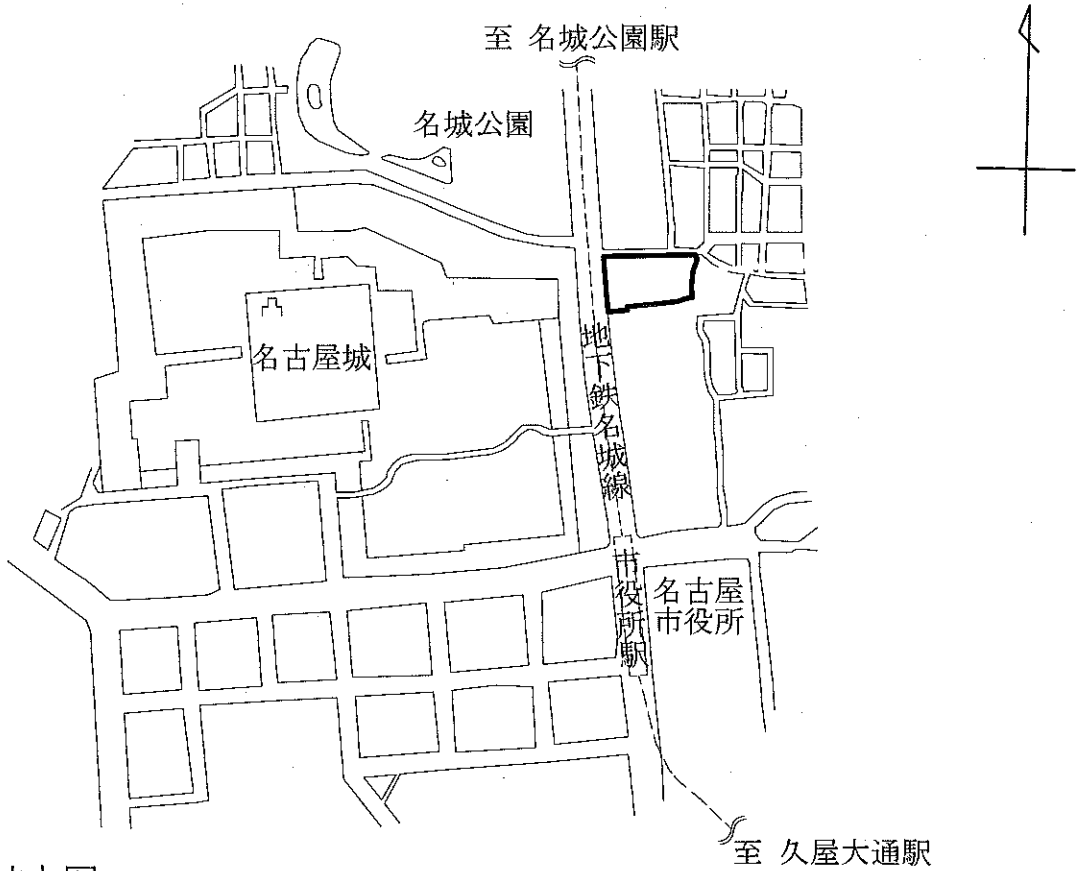


## 7 障害者団体等からの主な要望及び対応状況

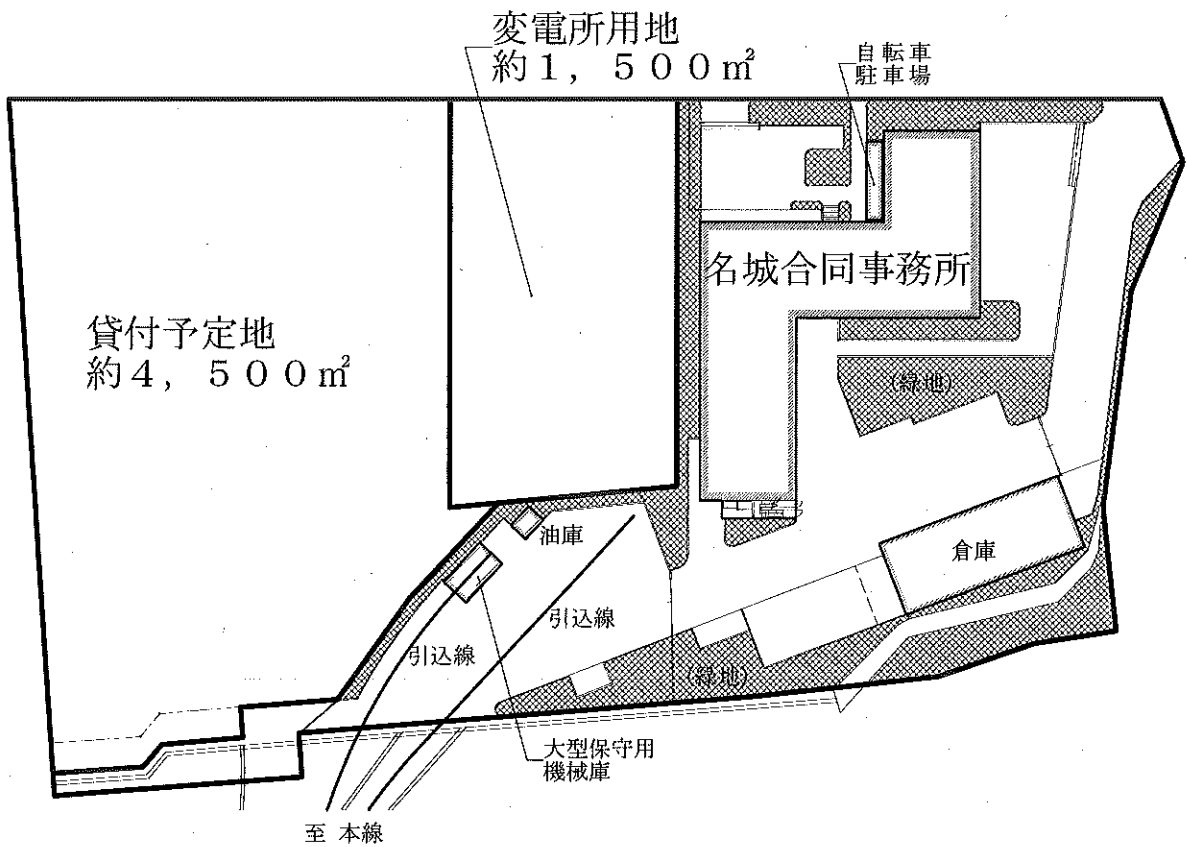
要 望	対 応 状 況
お客さま案内の改善	点字をはじめとした案内表示や案内放送等については、移動等円滑化基準や障害者の皆さまの声を反映した交通局旅客サインマニュアル等に沿って整備を進めており、駅案内表示等の改善のご要望には駅改修等の機会を捉えて可能な限り対応している。
職員対応の改善	職員の対応については、お客さまの立場に立った親切・丁寧な対応を指導しているが、引き続き指導を徹底していく。また、職員の配置については、限りある人員の中で効果的な配置となるよう努めている。
バス停留所施設の整備等	バス停留所施設は、関係者との調整のうえ可能な限り整備を進めている。また、中型バスで運行を行っている路線への大型バスの導入については、道路状況、ご利用状況等を踏まえながら対応している。
地下鉄駅エレベーター・エスカレーターの整備	地下鉄駅のバリアフリールート確保は、エレベーターによる整備を基本としており、交差駅のうちエレベーターを利用して乗り換えのできない4駅の整備に取り組んでいる。
地下鉄駅ホーム柵の整備	名城線・名港線については、令和2年度の設置を目標に整備を進めている。鶴舞線については、名鉄との相互直通運転を行っていることから、整備にあたっての課題の整理をしている。

# 8 旧名城工場跡地

## (1) 付近図



## (2) 拡大図



## 9 旧名城工場跡地の活用に関する詳細調査の概要

目的	賃貸目的を実現するため、基本調査を踏まえ、適切な公募の要件等を検討するもの
調査会社	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
調査期間	平成30年11月22日～平成31年3月15日
調査項目	<p>複数用途・業態による活用を前提に、事業者へヒアリングを行うこと等により、主に次の事項を評価、検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募条件、公募時期に影響を与える事項の評価</li> <li>・公募条件の検討</li> <li>・提案の評価方法の検討</li> <li>・公募時期の検討</li> </ul>
調査結果	<p>周辺の既存施設の配置や今後の開発事業の展開等、跡地の活用に影響を与える事項の評価を踏まえ、貸付料・貸付期間等の公募条件、提案の評価項目・配点等及び借地人公募に最適な時期の考え方が示された。</p>

# 10 累積欠損金の推移

## (1) バス

### ア 決算

(単位 百万円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
経常収入	23,522	23,521	24,229	24,687	24,929
営業収益	19,441	19,929	20,569	20,884	21,112
営業外 収 益	4,081	3,592	3,660	3,803	3,817
経常支出	22,138	21,984	22,071	22,930	23,673
営業費用	21,805	21,635	21,794	22,651	23,259
営業外 費 用	333	349	277	279	414
営業損益	△ 2,364	△ 1,706	△ 1,225	△ 1,767	△ 2,147
経常損益	1,384	1,537	2,158	1,757	1,256
特別損益	△ 264	583	131	186	1,650
純 損 益	1,120	2,120	2,289	1,943	2,906
累積欠損金 ( △ )	△ 42,416	△ 40,296	△ 38,007	△ 36,064	△ 33,158

### イ 計画

(単位 百万円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
累積欠損金 ( △ )	△ 43,223	△ 41,040	△ 39,802	△ 38,822	△ 38,038

(注) 平成26年度は「市営交通事業経営健全化計画」、平成27年度以降は「名古屋市営交通事業経営計画(2015-2018)」の数値です。

(2) 地下鉄  
ア 決算

(単位 百万円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
経常収入	85,684	91,157	94,514	94,623	94,394
営業収益	78,028	80,721	81,512	82,553	83,725
営業外 収 益	7,656	10,436	13,002	12,070	10,669
経常支出	79,150	78,869	78,392	77,705	77,733
営業費用	66,294	67,235	68,373	69,049	70,238
営業外 費 用	12,856	11,634	10,019	8,656	7,495
営業損益	11,734	13,486	13,139	13,504	13,487
経常損益	6,534	12,288	16,122	16,918	16,661
特別損益	△ 2,527	△ 936	232	339	211
純 損 益	4,007	11,352	16,354	17,257	16,872
累積欠損金 ( △ )	△ 275,929	△ 264,577	△ 248,223	△ 230,966	△ 214,094

イ 計画

(単位 百万円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
累積欠損金 ( △ )	△ 314,147	△ 268,860	△ 257,590	△ 246,190	△ 235,427

(注) 平成26年度は「市営交通事業経営健全化計画」、平成27年度以降は「名古屋市営交通事業経営計画(2015-2018)」の数値です。

# 1 1 バス運転士、地下鉄乗務員、駅務員の欠員数の推移

(単位 人)

区 分		29年度	30年度
バス運転士	定 数	1, 239	1, 247
	在 籍 数	1, 164	1, 172
	欠 員 数	△75	△75
地下鉄乗務員	定 数	605	610
	在 籍 数	583	590
	欠 員 数	△22	△20
駅 務 員	定 数	667	661
	在 籍 数	618	613
	欠 員 数	△49	△48

(注) 1 人数には一般職員のほか、再雇用職員及び嘱託職員を含みます。

2 在籍数は年度末人員を示します。

## 1 2 休職者数の推移

(単位 人)

区 分	29年度	30年度
バス運転士	14	14
地下鉄乗務員	7	8
駅 務 員	4	10
そ の 他	20	27
計	45	59

# 1 3 コンクールの実施

## (1) バス

区 分	運転士
名 称	自動車部運転・接客技能コンクール
目 的	コンクール課題に取り組むことにより、運転技能や接客サービスの向上を目指す。
競技方法	中部トラック総合研修センターコース内をバスで運行しながら運転と接客の課題に対応し、バスに同乗する審査員が採点する。
競技内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転課題 安全確認、運転操作、進路変更、狭あい路通過、横断歩道通過、交差点右左折、障害物回避、着停方法等</li> <li>・ 接客課題 接客案内、車いすの固定、業務知識応答、注意喚起案内、乗降客扱い、車内点検等</li> </ul>
出 場 者	<p>11名</p> <p>〔各営業所、各分所（委託営業所含む） 1名〕</p>
表 彰	<p>最 優 秀 賞 1名</p> <p>優 秀 賞 2名</p> <p>審査委員長特別賞 1名</p>



(2) 地下鉄

区 分	駅務員	運転士	車 掌
名 称	接客コンクール (地下鉄駅務員部門)	地下鉄運転技能競技会	
目 的	模範となる接客技術を競い合うとともに、優れた接客を他の職員と共有させることにより、接客サービスの向上を目指す。	競技会の課題に取り組むことにより、運転技能や異常時の対応能力の向上を目指す。	競技会の課題に取り組むことにより、アナウンスや異常時の対応能力の向上を目指す。
競技方法	改札口のセットを設け、役者が演じるお客様が繰り出す課題に対して各競技者がロールプレイを行い、審査員が採点する。	本線に競技列車を走らせて、競技内容について、列車に同乗する審査員が採点する。	
競技内容	乗車券等の案内、視覚障害者の対応、迷子の対応、異常時対応	速度目測、速度調節、停止位置、制動操作、運転時分、運転操作、衝動、異常時対応	扉開閉等基本動作、車内アナウンス、異常時対応
出 場 者	12名 〔各駅務区 2名〕 〔各委託事業所 1名〕	10名 〔東山線 3名〕 〔名城線 3名〕 〔鶴舞線 2名〕 〔桜通線 2名〕	5名 〔名城線 3名〕 〔鶴舞線 2名〕
表 彰	最優秀賞 1名 優 秀 賞 2名	最優秀賞 1名 優 秀 賞 1名	最優秀賞 1名 優 秀 賞 1名

